

創学舎ニュース

Sougakusha News

No.325

世の中で努力しても勝者になるとは限らない。しかし、勝者は、例外なく必ず努力をしている。社会(世の中)は、厳しい。だが、学習(勉強)は、適切な努力をすれば、必ず成功します。さあ、一緒にがんばりましょう。(柳 善一)

入試は近い。自分の力を信じて、他人と比較することなく、目の前の問題に集中せよ。規則正しい生活を守り、睡眠をきちん取り、毎日計画に沿って学習せよ。結果は後からついてくるものだ。(大場 健司)

今年一年間の自分を振り返ってみると、楽しかった思い出と反省すべき様々なことを思い出します。みなさんもありますか? 暦で切り替わる二〇一三年。今年の反省を活かして新年は楽しかった思い出だけになるよう共に頑張りましょう!(長坂 浩之)

寒さが厳しい冬。そんな環境の中で、自分自身に大きな負荷をかけてみよう。苦しみが大きければ大きいほど、その後の達成感・充実感は計り知れない程大きなものになります。来年の大きな飛躍のきっかけはこの冬にあり!(村田 寛之)

どんな冬が待っているかわからない!!ただ、分かっていることだけでも、時間は過ぎていく。決めるのはあなた自身。それを応援するのが、私たち講師。冬が少しでも充実できるように、精一杯応援します。(小林 英二)

受験生へ。いよいよ最後の山場が来ました。少しの甘えに気がつけてラストスパートをかけましょう。(松永 弘文)

二〇一二年を気持ちよく終え、次の二〇一三年を清々しく迎えられるように、寒さに負けず共に頑張りましょう。(上野 真宏)

十二月は大事。冬期はもっと大事。一月は更に大事。一日が入試の得点一点に値するのです。大事にすること。そして心が折れたら志望校を見に行くこと。がんばれ。(小林 健輔)

この冬休みで、何がどれだけできるかな? 毎日前進し続けよう。この講習が終わった時には、成長した自分に会えるはず! 寒い冬、創学舎で熱くなろう!(小池 寿幸)

年末年始の冬期講習です。時間の大切さを再認して、お互いに全力投球。一瞬一瞬を充実して過ごしましょう。(村上 静馬)

耐えろ! 冬!! 寒くても、皆さんの熱気が教室を暖めてくれる。しっかりと力を蓄えて、一回り大きくなった新学年を迎えよう。悩んで、考えたら分、もっともっと強くなれる。(森 清志)

もうすぐ冬休みです。受験生でない人は生活習慣を崩さないように、受験生の方はやるべきことを精一杯して、悔いの残らない充実した生活を送ろう。(岡本 武)

自分で時間の使い方を決められる貴重な冬休み。中三の皆さんはぜひ悔いのないよう目標を決めて過ごしてほしいと思います。中一・二の皆さんは勉強の時間も計画的にとメリハリのある冬休みを過ごせるようにしましょう。(船木 政子)

未来への準備。自分が動かなければ何も変わりませんよね。(五日市 浩)

部活にしても、勉強にしても、寒い冬の時期にこつこつ積み重ねて、力をつけた人だけが春に大きく花を咲かせます。春に向けて一回り成長するために、一緒にこの冬を乗り越えていきましょう!(大久保 宏美)

センター目前。後悔の残らぬ様、自分を信じて走り切れ!! 諦めるな!! 最後の最後の結果が出るまで止めない!! それを諦めない!! ということだ。自分を信じてひた走れ!!(上 静恵)

一年生の皆さん。今年のはんびりしよと考えていませんか? 二期期のテストはどうでしたか? 部活や遊びも結構ですが、机に向かうこともあなたの今の仕事です。二年生の皆さん。来年の冬は今年とは違いますよ。今の三年生の姿を目に焼き付けておいてください。来年、あなたがその姿をする出番が回ってきます。是非とも今から準備を。三年生の皆さん。今、とても苦しい時間を過ごしているはず。不安や心配を抱えて机に向かうことは尋常な事ではありません。ただひとりで戦っているのではなく、我々も一緒に戦っていること、忘れないでください。(松尾 裕史)

冬期講習に

向けて



「春」をあらわす spring は、「水が湧き出るところ」が語源です。その春に備えて、この冬は一緒に学力の「水源地」づくりを目指しましょう。(関 憲吾)

自分の決めた目標や夢に向かって突き進みましょう! 目標や夢は逃げません。逃げるのはたいいて自分の方なのです。(瀬野 武士)

中一・中二は、勉強のペースを緩めることなく二期期を迎えよう。学年末テストまで期間がある分、日頃の勉強を大切に! 中三は入試直前! 計画的に過去問・副教材を進めるとともに毎回の授業を大切にしていこう。(本多 隆範)

決戦の日が迫っています。過去問研究(傾向分析と対策)と基礎の確認(テキスト)と、問題集などの定着)を焦らず怠らず積み重ねること! あとは冬期講習を有意義に活用し、自分を信じて打ち込む気迫で勝負!(高橋 力)

今年一年を振り返って、来年の目標を立てましょう! 反省するだけでは動けません。動き出すには未来への「夢や希望」が必要なのです。(櫻村 公太)

クリスマスやお正月などの楽しいイベントを横目で見ながら、冬期講習を頑張る皆さんは偉い! せっかくなので、何か特別な「形」「成果」を見せてください!(新島 景子)

受験生は、受験までの、そして、その他の学年も進級に向けて、新しく気持ちを入れ替える時期にきました。楽しいイベントに心奪われがちですが、この短い冬休みに、しっかりと自分を見つめ直し、それぞれの目標に向け、一緒に頑張りましょう。(阿部 浩明)

クリスマスやお正月といった楽しいイベント。年末年始のテレビ特番。冬休みは皆さんを勉強から遠ざける誘惑がたくさんあります。そんな誘惑に打ち勝つためにも、ぜひ創学舎へ足を運んでください。一緒に勉強しよう。(高寺 大介)

この講習で受験が決まってしまう人も多いことでしょう。人生が決まると言っても過言ではありません。この人生の大勝負で勝利し、美酒で酔おうではありませんか。おっと生徒諸君、君たちはまだだめだぞ。(山崎 将之)

クリスマスにお正月、色々楽しみが多い冬休みはあつという間に終わってしまいます。冬休みに入る前に計画を決めて、少しでも実りのある休みにしたいですね。一人で目標設定できないなら気軽に相談してください。(中村 瑤一朗)

冬は体調管理が重要です。まずは風邪をひかないこと。そして風邪をひいてしまったら、勇気をもって休んでしっかり休むこと。正しい勇気を持つこそ、勝者にふさわしいと、私は思います。(鮎澤 崇嗣)

寒いからといって、暖かい部屋でんびり過ごしていませんか? それでは、どんどん勉強が遅れてしまいます。だから、この冬休みを利用して、一、二期期の復習をしましょう。(矢上 有一)

二〇一二年はどんな年になりましたか? 楽しかった、つまらなかった等、思い返すと人それぞれでしょう。今年のうちに心も部屋も大掃除をし、二〇一三年を気持ちよく迎えますよ。(浅岡 茜里)

進学、進級、新たな一歩を踏み出す皆さんは、不安な気持ちを抱えていると思います。けれど、昨日から今日、今日から明日へと皆さんは大きな一歩を毎日進んでいます。いつものように自然に、新たな気持ちで前進してゆきましょう。(高橋 麻衣子)

誰でも、「成長したい」、「今より良くなりたい」という願望を持っているはず。今年の冬は、その願望を実現させる大きなチャンスです。そのチャンス、生かすことができるように精一杯お手伝いします!!(高野 陽介)

自分の目で実際に見ると

授業とは離れた話になるが、今年は何回か東北方面に行く機会があり、2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地を何箇所か見て回った。個人的には大学時代から、災害時の避難状況について研究していた経緯もあって、新聞やテレビなどで情報を収集していた。

災害の大きさとそれに呼応する被害、さらには被災された方々のことを考えると、被災地に赴いたり話を聞いたりして良いのか、非常に悩むし気の引ける思いであった。しかし、同時に、この時代に生きている人間として、被災状況を自分の目で確かめることは重要だと思った。

そして訪れた宮城県石巻市の大川小学校。メディアなどでもかなり取り上げられたので、記憶にある方も多いと思う。この学校は、新北上川河口から約5kmの距離にあるが、津波が河川を遡上してこの学校を襲った。これにより全校児童の約7割が犠牲となり、教職員も校内にいた11名のうち9名が死亡、1名が行方不明となった。



地理的特性として、学校の西側に、周囲の堤防より小高くなっていた新北上大橋のたもと(三角地帯)がある。また、学校南側には裏山がある。震災時、この裏山と三角地帯が一時避難の候補となったが、教職員の中で意見が対立し、最終的に三角地帯への避難を目指した。しかし、その三角地帯も津波に飲みこまれ、列の後方にいた教職員と児童は裏山に駆け上がり、一部は助かった―報道からそう私は認識している。

訪れたとき、あまりの無残さに言葉を失った。まず目を奪われるのは、校門前の慰霊碑だった。

鮮やかな色のひまわりの造花が校門を覆いつくすように供えられている光景に胸が痛む。次に目に入るのは2階建ての鉄筋コンクリートの廃墟だ。鉄筋が至るところでむき出しになっている。全てガラス窓がなく、2つの校舎をつなぐ通路が崩れ落ちている。裏山に面した壁には児童達の卒業制作であろう壁画が描かれていたがそれもボロボロに崩れていた。被害は屋上にも及んでいた。次に学校周辺に目がいくが、人気のない砂漠のようあたり一面何も無い。所々に草が生えているだけだ。案内してくれた人の話によると、学校周辺は住宅街であり、震災直後はつぶれた家屋や車がそこら中に散乱していたが、瓦礫を取り除いたとのことだった。そして針葉樹林に覆われた裏山は工事が行われていたが妙に平和に見えた。

静けさに包まれた中、周辺を歩き呆然と立ち尽くしていると、震災前の子供たちの活気と震災時の恐怖に混乱している様子が想像できた。現地から帰る時も、土砂で汚れた道路を見たり、仮設住宅の様子を見ると、自分はなんて無力なんだろうと思った。ここには書ききれないほどの思いが自分の頭をよぎった。

その中で大きく感じたことは2つ。まず、自分の目で実際に見て確かめることの重要さである。これは、人から聞いたり、テレビを見たり新聞を読んだりすることによって得られる情報量と比べて圧倒的な差がある。これは、災害現場に限らず、科学のおもしろさ、スポーツのおもしろさ、芸術や景色・街並みの美しさ等でも同じことが言えるだろう。今回はまさに「百聞は一見にしかず」ということわざすら稚拙に感じるほど、胸にくるものがあった。きみ達には、そういった経験をひとつでも多く体験してもらいたいと思う。

もうひとつは、毎日をめいっばい生きようということ。人はいつどこでどんな事態に遭遇するかわからない。だから、一つ一つ目標を定めながらそれを達成するために生きないとせっかくの人生もつたいない。その場の気分でやるべ

きことを簡単に明日に譲らない。―これ以上は、もう私の言語能力ではうまく伝えられない。あの現場をみれば誰もが身を感じるから。 (本多)

毎日読もう。模試の日も実行しよう。

★大学受験・高校受験の当日の注意★

① 腕時計を忘れるな。

② 鉛筆、消しゴムはたくさん持っていけ。(中学生は定規・コンパスを忘れるな！)

③ トイレは早めに行く。テスト直前に行って混んでいたら？あきらめて我慢するのは最悪です。テスト開始に多少遅れても済ませるべき。我慢している状態では解けません。また、大学入試でトイレットペーパーがなかったという事態がありました。ポケットティッシュは多めにポケットに入れておくこと。

④ あがつてしまったら、必ず作業する。言葉で自分を落ち着かせようとしてもムリ。手をさすったり、体操したり、手をふったり、深呼吸をしたり、文房具の手入れをしたり。作業に集中することで落ち着きます。

⑤ はつたりに負けない。「できたぞ。」「やさしかったよな。」「おれ満点かも。」と大きな声で周りを威圧する人がいます。無視。流されてはいけません。

⑥ 傾向が変わったら大チャンス。みんなビビります。当然、あなたもビビります。大事なものは、その先。みんなビビって頭の中が真っ白のはず。だから、「みんな点は伸びないぞ。自分は落ち着いて、とれる所を確実に解いて、合格に近づこう。」と考えるのです。おぼえておいてね。

⑦ 保冷剤は役に立ちます。頭がポツツとなったとき、休み時間に、首やほっぺにあてるとすっきりします。

⑧ 3教科あれば1教科、5教科あれば1教科や2教科失敗するのは当たり前。

1教科失敗↓引きずって失敗×
1教科失敗↓気持を整えていつも通り○
どちらがいいか分かりますよね。失敗したことをひきずらないで、他の教科をきちんとやれば合格に近づきます。

⑨ 昼食後、眠くなる人は、食べるものを工夫する。給食のあとの5時間目に眠くなる人は、テストのときも同じことになります。昼食をゼリー・プリン・みかんなどにかえると、かなりよくなります。これも模試のときから練習をすること。

⑩ 残された模試の回数は少ないと思いますが、模試のときも必ず右のことを読んで、覚え込んで行くこと。本番に備えての練習です。